

みんなdeスポーツ！ わが町の取り組み

②5

三重県

三重県では平成9年、当時の養護学校生徒たちの「サッカーがしたい」という希望から初めて養護学校サッカー部が誕生し、15年には「三重県ハンディキャップサッカー連盟」が発足しました。29年現在、県内特別支援学校6校にサッカー部があります。

本校サッカー部は、競技力向上を目指す「本戦チーム」と、楽しんで親睦を深める「フレンドチーム」に分かれて活動しています。休日には、多数の卒業生も参加しています。年代も幅広く、卒業15年目の方も元気な姿を見せてくれます。どちらのチームも、毎年秋開催の「三重県立特別支援学校知的障がい教育校サッカー大会」(校長杯サッカー大会)、

「東海地区特別支援学校知的障害教育サッカー大会」(東海大

FID東海リーグでの愛知県選抜との試合



県、東海大会を目標にサッカーに打ち込む

会)が目標です。

27年度からは全国大会「もうひとつの高校選手権」も始まり、本校本戦チームが記念すべき第1回大会に出場しました。

さらに、各校本戦チームの選手と卒業生を中心に県選抜チームが活動しています。33年三重県開催の全国障害者スポーツ大会サッカー競技に向け、強化を図っています。近年は東海選抜、さらにはFIDサッカー日本代表入りが期待できる選手もいます。「もうひとつのワールドカップ2018」に三重県出身選手が出場することも夢ではありません。

今後三重県選抜サッカーチームを中心に「障がい者アスリート」を育成するとともに、各特別支援学校サッカー部を通して「障がい者スポーツ」「生涯スポーツ」の場を充実させ、三重県ハンディキャップサッカー連盟の活動を盛り上げていきたいと思っています。

(津田琢麻 前三重県立稲葉特別支援学校高等部教諭・三重県ハンディキャップサッカー連盟広報担当)